

各 位

2016年12月9日
SBIホールディングス株式会社

UAEのネオファーマ社とALA関連製品の販売会社の 共同設立に関するお知らせ

当社（本社：東京都港区、代表取締役執行役員社長：北尾 吉孝）の子会社で、SBIグループの主要事業の1つであるバイオ関連事業において5-アミノレブリン酸（ALA）（※1）を利用した医薬品、健康食品及び化粧品の研究・開発・製造販売等を行うALA関連事業の中間持株会社であるSBI ALA Hong Kong Co., Limited（以下「SBI ALA Hong Kong」）は、アラブ首長国連邦（UAE）の医薬品製造販売会社であるNeopharma LLC（本社：UAE・アブダビ市、代表：B. R. Shetty、以下「ネオファーマ社」）（※2）と、ALA関連製品の海外での販売強化を図るため、共同出資による合弁会社を設立することで合意いたしましたのでお知らせいたします。

これまでALAを利用した医薬品・健康食品・化粧品の国内外での研究開発はSBIファーマ株式会社（本社：東京都港区、代表：北尾 吉孝）が進めており、また、ALAを配合する健康食品や化粧品の日本国内での販売は、SBIアラプロモ株式会社（本社：東京都港区、代表：竹崎 泰史）をはじめとした複数の代理店で展開してまいりました。

このたび、ネオファーマ社が開発を進めるALAを利用した医薬品（※3）の全世界での販売ならびにALAを配合する健康食品、化粧品および飼料や肥料を含むすべてのALA関連商品の海外販売の拡大に向けて、共同出資による合弁会社を設立いたします。

【合弁会社の概要】

商号	: SBIネオファーマ FZ LLC（英語表記：SBI Neopharma FZ LLC）
事業内容	: ALAを利用した医薬品の全世界での販売とALAを配合する健康食品、化粧品および飼料や肥料を含むすべてのALA関連商品の海外販売
本社	: アラブ首長国連邦
設立	: 2016年12月
出資比率	: ネオファーマ社 51%、SBI ALA Hong Kong 49%
役員構成	: 取締役 7名（ネオファーマ社より4名、SBIグループより3名を指名） 上記取締役の内、ネオファーマ社よりCEO1名を指名

（※1）5-アミノレブリン酸（ALA）とは：体内のミトコンドリアで作られるアミノ酸。ヘムやシトクロムと呼ばれるエネルギー生産に関与する機能分子の原料となる重要な物質ですが、加齢に伴い生産性が低下することが知られていません。ALAは、焼酎粕や赤ワイン、高麗人参等の食品にも含まれるほか、植物の葉緑体原料としても知られています。

（※2）ネオファーマ社：2003年に設立されたUAEの医薬品製造販売会社であり、抗生物質製剤、解熱鎮痛消炎剤、糖尿病用剤、循環器官用薬、呼吸器官用薬、消化器官用薬、ビタミン剤等のNeopharmaブランドのジェネリック医薬品の製造、販売を行っております。また、同社グループには、年間400万人以上の患者が来訪するUAE最大の私立病院を



運営するNMC Health PLC（ロンドン証券取引所上場）などの有力企業があります。

（※3）2016年10月26日に発表している通り、SBIファーマはネオファーマ社と糖尿病およびマラリア治療薬の独占的ライセンス契約を締結しており、今後はネオファーマ社が、マラリア治療薬についてはインドのNational Institute of Malaria Researchにて、糖尿病治療薬についてもその他の海外医療機関にてフェーズⅡ/Ⅲの臨床試験を行っていく予定です。

以上

本プレスリリースに関するお問い合わせ先：

SBI ホールディングス株式会社 コーポレート・コミュニケーション部 03-6229-0126